

時数 時間	1	2（本時）	3	4	5
学ばせたい動き	全身を使って即興的に踊る	大-小の動きを取り入れてひと流れの動きで即興的に踊る	遅-速の動きを取り入れてひと流れの動きで即興的に踊る	硬-軟の動きを取り入れてひと流れの動きで即興的に踊る	今まで学んだ「大げさ」な動きを基にひと流れの動きでペアで即興的に踊る
1	1 集合、整列、健康観察				
4	2 全体体じゃんけん → ペアをつくり、全身を使ってじゃんけんをして、体をほぐすよう伝える → 前時に学んだ動きを意識しながら大げさに行うよう伝える → じゃんけんだけでなく、勝ったときの喜びや負けたときの悔しさを全身で表現するように伝える				
5	3 オリエンテーション ・ 安全面の約束の確認 ・ 学習の進め方の確認				
15	4 一緒にやってみタイム <b>教師主導</b> 教師の声かけを聞いたり、教師の踊る姿を見たりして、新聞紙になりきって踊る ・ 単元の学習課題「大げさ探検隊になろう」や流れの確認 → 一緒にやってみタイムを5分程度行った後に、教師が全身を使って大げさに踊る様子とそうでない様子を子どもに比較させ、どちらの方がより、新聞紙になりきっているように見えるかを問い掛ける  再度、新聞紙を使って一緒にやってみタイムを行う				
	3 本時のめあての確認 めあて大きく動いたり、小さく動いたりして表現しよう めあてゆっくり動いたり、速く動いたりして表現しよう めあて硬く動いたり、軟らかく動いたりして表現しよう めあて学んだ動きを使って表現しよう				
37	4 一緒にやってみタイム <b>教師主導</b> 学ばせたい動きが体験できるような題材を教師が取り上げる 大げさに踊ることができるように、教師が声かけをしたり、一緒に踊ったりする <b>個別支援</b> ・ 前時に記述した学習カードを見て、表現運動に対して難しいと感じている子どもや困っている子どもを把握しておく ・ 自信をもって踊ることができない、題材の特徴を捉えることができない → 「前より全身を使って大げさに踊ることができてきたぞ」「いいね、その調子」など、称賛の声かけをする → 「先生の踊りをまねすれば大丈夫」「一緒に踊ろう」など、安心して踊ることができるような声かけをする <b>全体支援</b> → 雰囲気を出すためにBGMを使う → 教師の声かけを聞いたり、教師の踊る姿を見たりして踊るように声かけをする → 「大きく動くってどんな感じ？」など、発問しながら一緒に踊る → 学ばせたい動きを意図的に取り入れて踊ることで、子どもに学ばせたい動きを何度も経験させる → 「指先や爪先まで伸びていてすごく大きく踊れているね」など、学ばせたい動きを取り入れ、大げさに踊れている子どもを称賛したり、共有したりする → 「今より10センチ高く跳んでみよう」「もっとギュッと小さくなるかな？」など、さらに大げさに踊ることができような声かけをする → 一緒にやってみタイムと工夫しタイムの時間配分は子どもの実態を見ながら変更していく				
	5 工夫しタイム <b>自分で決める</b> かるとを使い、ペアで踊る かるとにかかれた題材を見て、踊り方を自分で決めながら大げさに即興的に踊る <b>個別支援</b> ・ 自分で即興的に踊ることが難しい、このような踊り方でいいのか心配 → 仲間の踊り方をまねしてもよいことを伝える。または、かるとにかかれた言葉やイラストを見てどのような印象を受けたかを聞く ・ 題材の特徴を捉えることができない → 「このときは大きく動くといいかな？小さく動くといいかな？」などと問い掛ける <b>全体支援</b> → かるとには特徴を捉えることができるようなイラストや擬音語をかいておく → それぞれのタイミングで次のかるとに移動してもよいことを伝える → 次のかるとに移動するときはジャングル探検隊らしく草をかき分けながら歩いたり、舟をこいで進んだりするよう声かけをする ・ 表現運動の学習に慣れ、子どもたちが即興的に踊ることができている → 「一緒にやってみタイム」の時間を減らし、「工夫しタイム」の時間を増やす ・ 本時に学ばせたい動きを取り入れながら踊ることができている → よい動きをしていた子どもを紹介するが、全体の前で踊ることが難しそうであれば、教師が代わりに踊って動きを紹介する ・ 教師が求めている学ばせたい動きが出ない、大げさに踊ることができていない → うまく取り入れることができている子どもや大げさに踊ることができている子どもを紹介して動きを共有し、全員で一緒にまねをして踊る				
44	6 本時のまとめ 授業で印象に残ったことや頑張ったことを学習カードに記述する				
45	7 整理運動				
評価の 重点	知	動きの観察、発言・学習カード			動きの観察
	思				発言
	態	活動の様子			活動の様子
単元末に期待される具体的な子どもの姿 はじめはどのように踊ればよいか分からなかったが、「一緒にやってみタイム」で先生や友達と一緒に踊ったから、大げさに踊るということが分かった。また、「工夫しタイム」では、かるとを何枚もめくって、踊り方を自分で決めながら、大げさに踊ることができた。大げさに踊るためにどうすればよいかを考えて、友達に伝えたり、工夫して一緒に踊ったりすることができた。大げさに踊ることに対して、最初は踊れるかどうか不安な気持ちもあったけど、先生や友達と一緒に踊ったから楽しく踊ることができた。					

**発問と声かけ（打ち上げ花火（大きい動き）と線香花火（小さい動き）を例に）**  
 ○ 打ち上げ花火（大きい動き）  
 教「打ち上げ花火がドカドカンを体で表現するとどのような感じだろう？」  
 子「思い切り跳んだり、腕や脚を広げて何度も跳んだりする」  
 教「みんなも思い切りジャンプできるかな？」「天井に手が届くくらい飛べるかな？」  
 教「腕だけではなく指先まで伸びていてすごい。爆発している感じがよく出ているね」  
 教「とても大きく表現できていて最高！」  
  
 ○ 線香花火（小さい動き）  
 教「今度は線香花火がパチパチパチ、どのように表現する？」  
 子「腕や脚を曲げたり伸ばしたりして打ち上げ花火のときより小さく動いている」  
 教「さっきの打ち上げ花火に比べて、腕や脚が曲がっていて小さく動くようにしているのがよく伝わるよ」  
 子「低く跳んだり、体を小さく丸めたりして動いている」  
 教「さっきよりも低く跳んでいる人もいるね」  
 教「体を小さく丸めながら、動いている人もいるね」

**発問と声かけ（ウバウバ族対探検隊を例に）**  
 教「このかるとには何がかかれてるかな？」  
 子「ウバウバ族と探検隊だ！」  
 教「（パンチをしながら）ウバウバ族がパンチしてきた！どうする？」  
 子「パンチを避けたり、受けたりする」  
 教「次のパンチで全員後ろに倒れるぞ！」  
 子「その場で倒れたり、後ろに大きく跳んだりする」  
 教「大きく動いていいね！次はゆっくりパンチしてきた！」  
 子「ゆっくり倒れたり、ゆっくり転がったりする」  
 教「ウバウバ族に合わせで遅く動いていいね！」  
 教「今度は大きな岩を投げるぞ！上から岩が降ってくるぞ！えいっ！」  
 子「岩を避けたり、つぶされたりする」